

## MATRIX Return on Investment

13/09/2018 9:01:36

顧客:

IMC JAPAN

IMC company:

コメント:

### 計算

MATRIX本体価格	3,500,000 JPY
年間節約	
取り出しと返却	1,210,000
受取	440,000
購買	660,000
ダウンタイム	1,962,400
消費	220,000
在庫	866,250
総計	5,358,650 JPY
投下資本利益率	8 月

### 変動値

工具を利用するオペレーターの数	20
頻繁に利用される工具の数。	400
仕入先の数	15
機械の台数	12
年間工具消費量	4,400,000 JPY
工具在庫量	16,500,000 JPY
MATRIX本体価格	3,500,000 JPY

### 初期値

オペレーター1人の工具室(工具棚がある場所)へ来る平均数/1日	2
MATRIXによる「出庫」、「返却」作業で節約できた時間	3 分
オペレーターの時間単価	2750 JPY
工具探しにおいて節約できた時間/1週間	5 分
使用量の多いアイテムの月平均発注頻度	1
「入庫」作業でセーブできた時間	2 分
仕入先ごとの平均発注回数/1ヶ月	4
MATRIXによる発注でセーブできた時間	5 分
一時間当たりの機械単価	5500 JPY
欠品における機械停止の割合。	5 %
機械の稼働時間/1日	24 時間
機械停止の削減時間%	10 %
低減できた工具消費量%	5 %
削減できた在庫基準%	5 %
経理上の在庫コスト%	5 %
低減できた不動態在庫%	5 %

### 備考

取り出しと返却

MATRIXによる「出庫」、「返却」作業で節約できた時間。

作業場近くで24時間アクセス可能である事によって節約できた時間。

工具室を介さない場合の業務時間低減

受取

MATRIX利用による受取で節約できた時間。

工具入荷時の該当発注検索  
迅速的確な受取プロセス

### 購買

MATRIXによる在庫管理と発注管理により節約できた時間  
使用量、使用頻度、納期、最低/最高在庫値は自動的に計算され、常に最新情報を提供します。  
全ての仕入先に自動発注の設定が可能です。

発注内容の確認・承認、発注書の発行を容易に行えます。

### ダウンタイム

MATRIXによる在庫管理は欠品から起こる機械停止を低減します。  
取出し履歴から工具の所有者が明確になり、検索時間が削減できます。

### 消費

オペレーターごとの使用量を把握可能で、使用量の適正化が可能です。  
工具寿命のベンチマークの実施で、より良い工具選択・生産性向上に貢献します。

### 在庫

MATRIXによる在庫管理で、過剰在庫と不動在庫を低減します。  
工具の適正在庫量を日々の使用量から算出します。